

## 第16章 災害・消防・警察・海上保安

1 災 害	369
16-1 平成22年中の台風・大雨等による被害状況	370
16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況	370
16-3 年次別台風・大雨等被害状況	371
2 消 防	372
(1) 火災発生状況	
(2) 消防現勢	
16-4 市町村別の火災発生状況	373
16-5 月別火災発生状況	373
16-6 原因別火災発生状況	373
16-7 大火災発生状況（損害額2,000万円以上）	373
16-8 消防現勢	374
3 警 察	375
(1) 交通事故発生状況	
(2) 刑法犯発生状況	
16-9 市町村別交通事故発生状況	376
16-10 刑法犯市町村別発生状況	377
4 海 上 保 安	378
16-11 海難事故の発生状況	378
16-12 海上における人身事故	379
16-13 機動力（巡視船艇）	379
16-14 民間救助組織	379
16-15 船舶交通安全協議会	380
16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況	380
16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会	380

# 1 災 害

平成22年は、大雨や台風7号・14号及び竜巻によって災害が発生した。

人的被害については、大雨により3名のかたが亡くなるなどの人的被害があった。

また、被害額については、約79億9千万円となり、前年と比べて約78億5千万円と大幅に増加した。

増加した理由としては、「奄美地方における豪雨災害」により、被災した箇所が大幅に増えたことと、箇所毎の被害額が大きかったためである。

年間の被害額を項目別に見ると、農林水産業施設被害が約31億1千万円（被害総額の39.0%）で最も多く、次いで公共土木施設被害の約30億円（同37.5%）などとなっている。

16-1 平成22年中の台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

期 間	台 風 大 雨 等	人的被害 (人)		住 家 被 害 (棟)					非住家 被 害 (棟)
		死 亡 不 明	負 傷	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
22.8.31~9.1	台風7号	0	0	0	0	6	0	0	0
22.10.18~10.24	大 雨	3	2	10	441	12	103	729	5
22.10.28~10.29	台風14号	0	0	0	1	4	0	0	1
22.11.22	竜 巻	0	0	0	0	0	0	0	0
計		3	2	10	442	22	103	729	6

16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課  
 期間：平成22年1月~12月  
 単位：千円

区 分 市町村名	人的被害 (人)	農林水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 業 被 害	そ の 他	合 計
奄 美 市	3	1,945,635	1,500,818	387,523	114,171	957,029	4,905,176
大 和 村	0	260,000	583,769	0	63,780	0	907,549
宇 検 村	0	0	90,500	0	0	0	90,500
瀬 戸 内 町	0	0	0	0	0	0	0
龍 郷 町	2	826,804	669,096	0	28,192	313,230	1,837,322
喜 界 町	0	0	0	0	0	0	0
徳 之 島 町	0	61,862	39,487	0	0	0	101,349
天 城 町	0	0	60,579	0	0	0	60,579
伊 仙 町	0	20,000	44,147	0	0	0	64,147
和 泊 町	0	0	6,928	1,277	1,310	617	10,132
知 名 町	0	0	0	0	0	3,000	3,000
与 論 町	0	0	0	0	14,664	0	14,664
合 計	5	3,114,301	2,995,324	388,800	222,117	1,273,876	7,994,418

資料：大島支庁総務企画課  
 期間：平成22年1月～12月

被 害 金 額 (単位：千円)										備 考 被害地域等
農 林 水 産 施 業 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	林 産 被 害	畜 産 被 害	水 産 被 害	商 工 被 害	そ の 他	計	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	与論町
3,114,301	2,995,324	387,523	141,371	200	64,572	0	1,227,960	42,299	7,973,550	奄美市・大和村・宇検村 龍郷町・伊仙町・天城町 徳之島町・和泊町
0	0	0	15,902	0	0	0	0	3,000	18,902	知名町・和泊町・与論町
0	0	1,277	72	0	0	0	0	617	1,966	和泊町
3,114,301	2,995,324	388,800	157,345	200	64,572	0	1,227,960	45,916	7,994,418	

16-3 年次別台風・大雨等被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課  
 期間：平成22年1月～12月  
 単位：千円

区 分 年 次	住 家 等	農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
平成 11	35,960	585,677	944,220	10,145	449,883	13,580	2,039,465
12	325,704	502,897	1,199,701	39,250	861,311	41,764	2,970,627
13	17,158	13,400	50,500	5,395	766,708	12,705	865,866
14	476,376	246,234	313,700	108,825	958,647	184,938	2,288,720
15	58,387	50,426	306,525	44,757	815,988	126,567	1,402,650
16	—	395,149	2,070,314	327,493	1,669,073	312,971	4,775,000
17	—	226,395	915,665	109,980	127,524	39,612	1,419,176
18	—	17,000	109,597	700	19,380	7,500	154,177
19	—	20,130	333,400	87,607	216,495	47,230	704,862
20	—	34,742	100,547	2,000	682	176	138,147
21	—	26,162	899	6,290	68,897	570	102,818
22	—	3,114,301	2,995,324	388,800	222,117	1,273,876	7,994,418

(注)「住家等」については、平成16年度以降、集計されていない。

## 2 消 防

### (1) 火災発生状況

平成21年中の火災発生件数は82件で、前年に比べ7件減少しており、約4.5日に1件の割合で火災が発生したことになる。

市町村別では、奄美市が26件（奄美群島全火災の31.7%）で最も多く、次いで、知名町11件、天城町、伊仙町8件、和泊町7件、喜界町6件、瀬戸内町、龍郷町5件、徳之島町4件、与論町、宇検村1件、大和村0件の順となっている。

人口（平成21年3月31日住民基本台帳による）1万人当たりの出火件数を表す出火率では、知名町の16.1が最も高く、次いで天城町の11.7、伊仙町の10.8、和泊町の9.7、龍郷町の8.1の順となっている。

火災種別にみると、「建物」火災が50件（奄美群島全火災の61.0%）で最も多く前年に比べ16件の増加、「林野」火災が5件（同6.1%）で前年と同数、「車両」火災が6件（同7.3%）で前年に比べ3件の減少、「船舶」火災が1件（同1.2%）で前年に比べ1件の減少、「その他」火災（田畑の野焼き等の火災）が20件（同24.4%）で前年に比べ19件の減少となっている。

火災による死者は3人で、前年に比べ1人の増加である。また、負傷者は16人で前年に比べ9人の増加となっている。

焼損棟数は113棟で前年に比べ54棟の増加、り災世帯数は95世帯で前年に比べ58世帯の増加、り災人員は173人で前年に比べ89人の増加となっている。

損害額は276,925千円で、前年に比べ148,178千円の増加で、火災1件当たり約3,377千円、1日当たり約759千円が灰になったことになる。

損害額2千万円以上の大きな火災は、奄美市で3件、知名町で1件発生している。

出火原因では、野焼き等をする際の「火入れ」が12件（全火災の14.6%）で最も多く、次いで「こんろ」11件（同13.4%）、「たばこ」6件（同7.3%）、「電灯・電話等の配線」、「放火」、「風呂かまど」5件（同6.1%）の順となっている。

### (2) 消 防 現 勢

消防本部数は前年と変わらず3本部となっている。消防職員は236人で前年と同数で、条例定員に対する充足率は、97.5%である。

また、消防吏員233人の平均年齢は41.1歳となっている。

消防団数は12団で前年と変わりはないが、消防分団数は90分団で、前年に比べ3分団減少している。消防団員は、1,550人で前年に比べ29人増加し、平均年齢は41.9歳で条例定員に対する充足率は96.2%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ等の消防機械のうち、ポンプの充足率は100%（平成21年4月1日時点）となっており、救急自動車の所有台数は前年と変わらず21台となっている。

また、火災鎮圧のため必要不可欠な消防水利については、平成21年4月1日時点で充足率83%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ及び消防水利充足率の県平均は、平成21年4月1日時点で消防ポンプが92%、消防水利は74%であり、県平均と比較すると、消防ポンプ充足率、消防水利充足率ともに県平均以上となっている。

16-4 市町村別の火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成21年1月～12月

市町村名	出火件数						損害額(千円)						焼損棟数				り災世帯数				死傷者		損害面積		1件当たりの損害額(千円)					
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機その他	計	建物	林野	車両	船舶	航空機その他	爆発	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	り災人員	死者	負傷者		建物床面(m <sup>2</sup> )	林野(a)			
奄美市	26	17	2	1		6	144,631	144,550				81	58	35	2	13	8	60	33	2	25	109	1	8	2,236	11				
大和村																														
宇検村	1				1		2,600			2,600																	2,600			
瀬戸内町	5	4	1				12,291	12,291					6	1		4	1	6	2	2	2	16		3	151	2	2,458			
龍郷町	5	3	2				3,031	3,031					4	3		1		1	1							97	5	606		
喜界町	6	2		2		2	6,330	5,680		650			4	1		3		3	1		2	4				128		1,055		
<b>計</b>	<b>43</b>	<b>26</b>	<b>5</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>168,883</b>	<b>165,552</b>	<b>0</b>	<b>650</b>	<b>2,600</b>	<b>0</b>	<b>81</b>	<b>0</b>	<b>72</b>	<b>40</b>	<b>2</b>	<b>21</b>	<b>9</b>	<b>70</b>	<b>37</b>	<b>4</b>	<b>29</b>	<b>130</b>	<b>1</b>	<b>11</b>	<b>2,612</b>	<b>18</b>	<b>3,928</b>	
徳之島町	4	4					12,872	12,872					6	3	2	1		3	1	1	1	3	1	1	299		3,218			
天城町	8	6				2	19,334	19,278				56	12	6	1	3	2	8	3	1	4	17	1		265		2,417			
伊仙町	8	5		1		4	17,856	17,414		103		19	320	7	5		2	6	4		2	8		3	381		2,232			
<b>計</b>	<b>20</b>	<b>15</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>50,062</b>	<b>49,564</b>	<b>0</b>	<b>103</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>75</b>	<b>320</b>	<b>25</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>17</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>28</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>945</b>	<b>0</b>	<b>2,503</b>	
和泊町	7	3		1		3	21,019	20,611		408			4	2	2			2	1	1		4				338		3,003		
知名町	11	6		1		4	37,281	37,281					12	9			3	6	4		2	11		1	581		3,389			
与論町	1					1																								
<b>計</b>	<b>19</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>58,300</b>	<b>57,892</b>	<b>0</b>	<b>408</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>8</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>15</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>919</b>	<b>0</b>	<b>3,068</b>		
<b>合計</b>	<b>82</b>	<b>50</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>276,925</b>	<b>273,008</b>	<b>0</b>	<b>1,161</b>	<b>2,600</b>	<b>0</b>	<b>156</b>	<b>320</b>	<b>113</b>	<b>65</b>	<b>7</b>	<b>27</b>	<b>14</b>	<b>95</b>	<b>50</b>	<b>7</b>	<b>38</b>	<b>173</b>	<b>3</b>	<b>16</b>	<b>4,476</b>	<b>18</b>	<b>3,381</b>	
平成20年	89	34	5	9	2	0	39	128,747	115,209	0	2,568	10,650	0	320	0	59	31	3	11	14	37	18	2	17	84	2	7	1,897	31	1,447
比較	△7	16	0	△3	△1	0	△19	148,178	157,799	0	△1,407	△8,050	0	△164	320	54	34	4	16	0	58	32	5	21	89	1	9	2,579	△13	1,934

16-5 月別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成21年1月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	5	8	9	6	11	8	1	9	11	5	7	2	82
前年件数	7	6	17	8	8	2	3	11	2	5	9	11	89
増減数	△2	2	△8	△2	3	6	△2	△2	9	0	△2	△9	△7

16-6 原因別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成21年1月～12月

順位	(1)	(2)	(3)	(4)	(4)	(7)	(8)	(9)	(9)	(9)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)																	
	火入れ	こんろ	たばこ	電灯・電話等の配線	放火	風呂かまど	たき火	放火の疑い	配線器具	煙突・煙道	排気管	火遊び	マッチ・ライター	衝突の火花	溶接機・切断機	灯火	電気機器	焼却炉	ストーブ	内燃機関	交通機関内配線	その他	不明・調査中	計								
件数	12	11	6	5	5	5	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	13	7	82								
前年件数	17	7	6	2	2	1	9	5	2	0	0	3	3	1	0	0	3	1	1	1	1	13	11	89								
前年順位	(1)	(3)	(4)	(9)	(9)	(12)	(2)	(5)	(9)			(6)	(6)	(12)			(6)	(12)	(12)	(12)	(12)	-	-	-								
増減数	△5	4	0	3	3	4	△5	△2	0	2	2	△2	△2	0	1	1	△3	△1	△1	△1	△1	0	△4	△7								

16-7 大火災発生状況(損害額2,000万円以上)

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成21年1月～12月

出火月日	出火時刻	市町村名	火元の用途	原因	焼損棟数	り災世帯	り災人員	死者	負傷者	焼損面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)
2月5日	不明	奄美市	住宅	その他	19	14	22	1		653	30,191
4月14日	15:27	奄美市	住宅	不明	11	15	28		3	502	33,336
8月12日	8:00	知名町	住宅	配線器具	1	1	5			149	22,965
9月18日	14:30	奄美市	共同住宅	たばこ	10	9	15		2	352	20,616

# 16-8 消 防 現 勢

資料：鹿児島県消防保安課  
期日：平成22年4月1日

区分 市町村名	消防団 (消防本部)		消防団(職員)			消 防 ポ ン プ 等							消 防 水 利				
	団 ・ 本 部 数	分 団 数	条 例 定 数	現 員	平 均 年 齢	自消 防 動 車 プ	ボ水 ンそ プう 自付 動消 車防	付は 消 防し 自 動 車ご	小型動力 ポンプ		救急 自 動 車	そ の 他	ポ ン プ 充 足 率	消 火 栓	防 火 水 う	そ の 他	充 足 率
									付小 型積 動力 載ポン 車プ	い車 両に 積載 もし のて							
奄美市		16	452	419	43.3	9	2	-	38	4	-	2	-	427	141	33	-
大和村		5	52	51	39.1	1	-	-	9	-	-	-	-	-	28	9	-
宇検村		7	82	82	42.5	1	-	-	7	-	-	1	-	6	31	2	-
瀬戸内町		4	130	129	45.1	1	1	-	11	34	-	-	-	65	63	4	-
龍郷町		4	153	147	44.6	2	3	-	3	7	-	-	-	44	67	5	-
喜界町		10	120	119	40.0	2	2	-	6	2	-	2	-	-	129	4	-
<b>大島地区消防組合</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>156</b>	<b>153</b>	<b>41.1</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>13</b>	<b>19</b>	<b>100</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>91</b>
徳之島町		11	161	155	43.0	1	5	-	11	2	-	1	-	30	92	11	-
天城町		3	80	80	44.0	1	1	-	1	2	-	1	-	57	58	16	-
伊仙町		8	74	70	42.1	2	1	-	1	2	-	-	-	32	55	87	-
<b>徳之島地区消防組合</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>49</b>	<b>46</b>	<b>45.0</b>	<b>-</b>	<b>3</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>100</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>77</b>
和泊町		6	100	100	39.9	1	5	-	1	-	-	2	-	-	82	-	-
知名町		13	135	128	36.5	2	7	-	5	-	-	-	-	117	129	5	-
与論町		3	72	70	39.7	1	4	-	-	-	-	-	-	68	68	11	-
<b>沖永良部与論地区 広域事務組合</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>37</b>	<b>37</b>	<b>40.6</b>	<b>-</b>	<b>2</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>100</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>68</b>
(本部)		-	242	236	41.7	2	10	2	-	-	21	24	100	-	-	-	83
<b>計</b>	<b>団12</b>	<b>90</b>	<b>1,611</b>	<b>1,550</b>	<b>42.2</b>	<b>24</b>	<b>31</b>	<b>-</b>	<b>93</b>	<b>53</b>	<b>-</b>	<b>9</b>	<b>-</b>	<b>846</b>	<b>943</b>	<b>187</b>	<b>-</b>

注1 消防職員の平均年齢は消防吏員の平均である。

注2 ポンプ充足率及び消防水利充足率は、平成21年4月1日時点の数値である。

## 3 警 察

### (1) 交通事故発生状況

平成22年の交通事故の総発生件数（人身）は、324件で前年に比べ26件減少した。

交通事故による死者は6人で、前年に比べ3人増加，傷者については366人で34人減少した。

件数を市町村別にみると，奄美群島で件数の最も多いのは奄美市の139件（全体の42.9%）で，次いで徳之島町45件（同13.9%）となっている。また，島別に件数の割合をみると，大島本島56.2%，喜界島5.9%，徳之島22.5%，沖永良部島13.3%，与論島2.2%となっている。

死者は，奄美市で2人，喜界町で1人，徳之島町で1人，和泊町で1人，与論町で1人の合計6人となっており，前年からすると増加している。

人口1万人当たりの死傷者数は，徳之島町が42人，奄美市が36人，和泊町が36人となっており，最も少ないのは宇検村の11人となっている。

### (2) 刑法犯発生状況

平成22年の刑法犯の総認知件数は，640件で前年に比べ16件の増加となっている。

市町村別にみると件数が最も多いのが，奄美市の364件（全体の56.9%）で前年と比べると25件の増加，次いで徳之島町の56件（8.8%）で前年に比べ11件減少した。

罪種別にみると，窃盗犯が457件（全体の71.4%）と犯罪の大部分を占めている。検挙件数は313件となっている。

## 16-9 市町村別交通事故発生状況

資料：県警察本部交通企画課  
期間：平成22年1月～12月

区分	人口	件数	死者	傷者	前年比増減			車両台数			人口1万人 当たりの 死傷者数
					件数	死者	傷者	原付・自二	自動車	合計	
総数	119,805	324	6	366	-26	3	-34	25,108	77,550	102,658	31.1
大島本島	66,758	182	2	215	-28	-1	-27	10,313	38,430	48,743	32.5
奄美市	46,891	139	2	164	-25		-25	7,809	26,290	34,099	35.4
大和村	1,879	3		4	2		3	117	1,094	1,211	21.3
宇検村	1,923	2		2	1		1	148	1,430	1,578	10.4
瀬戸内町	9,963	22		27			3	1,531	5,540	7,071	27.1
龍郷町	6,102	16		18	-6	-1	-9	708	4,076	4,784	29.5
喜界島	8,150	19	1	21	10	1	11	1,768	5,950	7,718	27.0
喜界町	8,150	19	1	21	10	1	11	1,768	5,950	7,718	27.0
徳之島	25,473	73	1	80	-4	1	-9	5,298	19,578	24,876	31.8
徳之島町	12,221	45	1	50	-4	1	-2	2,628	8,630	11,258	41.7
天城町	6,544	14		15	2		-1	1,439	5,172	6,611	22.9
伊仙町	6,708	14		15	-2		-6	1,231	5,776	7,007	22.4
沖永良部島	13,986	43	1	44	-3	1	-7	5,388	10,245	15,633	32.2
和泊町	7,262	26	1	25	3	1	-3	2,793	5,403	8,196	35.8
知名町	6,724	17		19	-6		-4	2,595	4,842	7,437	28.3
与論島	5,438	7	1	6	-1	1	-2	2,341	3,347	5,688	12.9
与論町	5,438	7	1	6	-1	1	-2	2,341	3,347	5,688	12.9

注：1 人口は平成21年10月1日現在  
2 車両台数は平成22年3月末現在

## 16-10 刑法犯市町村別発生状況

資料：鹿児島県警察本部刑事企画課  
期間：平成22年1月～12月

市区町村	包括罪種	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の刑法犯	総計	平成21年の状況
奄美市	認知	2	20	272	6	1	63	364	339
	検挙	2	19	70	3	1	22	117	123
大和村	認知	0	0	3	1	0	0	4	4
	検挙	0	0	6	1	0	0	7	0
宇検村	認知	0	1	7	0	0	2	10	6
	検挙	0	1	6	0	0	2	9	3
瀬戸内町	認知	0	6	35	2	0	10	53	52
	検挙	0	5	48	2	0	10	65	26
龍郷町	認知	1	1	25	1	0	3	31	37
	検挙	1	0	14	0	0	0	15	20
喜界町	認知	0	4	21	0	1	8	34	29
	検挙	0	3	19	0	1	3	26	4
徳之島町	認知	2	9	34	2	1	8	56	67
	検挙	2	7	13	3	1	5	31	32
天城町	認知	0	3	12	0	0	2	17	17
	検挙	0	3	0	1	0	2	6	9
伊仙町	認知	1	4	11	0	0	5	21	18
	検挙	1	4	2	0	0	4	11	7
和泊町	認知	0	3	15	0	0	0	18	17
	検挙	0	3	3	1	0	0	7	14
知名町	認知	0	4	17	0	0	2	23	17
	検挙	0	2	6	1	0	2	11	11
与論町	認知	0	4	5	0	0	0	9	21
	検挙	0	3	4	1	0	0	8	14
総計	認知	6	59	457	12	3	103	640	624
	検挙	6	50	191	13	3	50	313	263

※数値については、平成23年1月7日現在暫定値。検挙件数については、発生地計上方式をとっている。

### 包括罪種の内訳

- 凶悪犯……殺人，強盗，放火，強姦
- 粗暴犯……暴行，傷害，脅迫，恐喝など
- 窃盗犯……窃盗
- 知能犯……詐欺，横領，偽造など
- 風俗犯……賭博，わいせつ
- その他の刑法犯……上記以外の刑法犯

## 4 海上保安

奄美海上保安部管内において、平成22年に発生した船舶海難は、10隻であり前年に比べ15隻減少した。

種類別に見ると乗揚、衝突、運行阻害、浸水の順となっている。原因別では、見張り不十分、船体機器整備不良、船位不確認などの人的ミスによるものが大半を占めている。

また、平成22年の人身事故者数は19名であり、前年と比べ19名減少し、死亡・行方不明者についても1名減少した。人身事故の原因は、自己の過失（知識、技能不足）に因るものが最も多く7名であった。

海難発生時の救助活動は時間との闘いでもある。よって広い奄美の海域では、漁協や海上工事業者などを主体とする民間救助団体の組織化及びその協力は不可欠である。これらの状況を踏まえて、「水難救済会与論救難所」が、平成7年に設置されたのを契機として、平成14年までに奄美群島内の全市町村に救難所が設置され、救助活動を実施している。

さらに、漁業組合やプレジャーボート関係者等を母体として組織された各地区小型船交通安全協議会の海上安全指導員は、海上における小型船による海難事故の未然防止を図るための活動を実施している。

平成19年4月から奄美海上保安部交通課が発足し、これまでの航行援助業務（航路標識業務、情報提供業務）に航行安全業務（海難調査、船舶交通の障害の除去、港則及び海難防止に関すること等）を加え海上交通業務を一元的に行うようになった。

名瀬港長（奄美海上保安部長）は、名瀬港内における港船舶交通の安全及び港内の整とんを図るため、海上工事や行事許可、危険物荷役の許可、入出港届の受理などを行っている。また、海上保安部は、毎年、奄美群島の各漁業協同組合の総会に出席し、海難防止講習会を行うほか、大島支庁が実施する漁船登録の検認に同行し、漁船に対して海難防止指導を実施している。

奄美海上保安部の管理する灯台は、管内で最古の曾津高埼灯台（明治29年11月初点）を初めとする沿岸灯台18基、その他の防波堤灯台・導灯・指向灯・照射灯20基の合計38基がある。そのうち約半数は太陽電池化及びLED化されている。

また、「海の情報」を提供する業務を行っている。平成15年2月からMICS（沿岸域情報提供システム）を運用し、奄美群島の沿岸を航行する船舶・漁船やマリネジャーを楽しむ人々々々へ向けて、海の安全に関する情報（灯台で観測された気象情報、ライブ映像、海上工事の計画情報等）をインターネット・ホームページ（携帯電話を含む。）で提供し海難の未然防止に役立っている。

### 16-11 海難事故の発生状況

#### (ア) 要救助船舶隻数等の推移

項目 \ 年	平成20年	平成21年	平成22年
海 難 隻 数 (隻)	18	25	10
死 亡 ・ 行 方 不 明 者 数 (人)	1	0	1

#### (イ) 船舶海難の種類別内訳

(隻)

種 類	衝突	乗 揚	転 覆	火 災	浸 水	機 関 故 障	推 進 器 障 害	運 航 阻 害	行 方 不 明	そ の 他	合 計
平 成 2 0 年	6	5	2	1	0	4	0	0	0	0	18
平 成 2 1 年	8	5	2	1	0	2	0	4	0	3	25
平 成 2 2 年	2	4	0	0	1	0	0	1	1	1	10

## 16-12 海上における人身事故

### (ア) 人身事故者数の推移

(人)

項目	年	平成20年	平成21年	平成22年
事故者数		30	38	19
死亡・行方不明者数		12	12	11

(注) 死亡・行方不明者数は、事故者数の内数。

### (イ) 人身事故の種類別内訳

(人)

	船舶乗船中の人身事故					海浜事故				合計
	海中転落	負傷	病気	中毒	その他	遊泳中	磯遊び	磯釣中	その他	
平成20年	1	5	3	0	0	3	1	4	13	30
平成21年	5	4	0	0	0	4	4	0	21	38
平成22年	1	2	0	0	0	2	1	0	13	19

## 16-13 機動力(巡視船艇)

船名	所属	総トン数	航行区域	就役年月
かいもん	奄美海上保安部	220	近海	平成16年4月
いそなみ	〃	149	近海	昭和56年3月
うけゆり	古仁屋海上保安署	26	沿海近海	平成21年4月
ばるさあ	〃	4.7	沿海	平成8月3月

## 16-14 民間救助組織

組織の区分	組織の名称	代表者	住所	救助勢力
鹿児島県水難救済会	与論救難所	南 政 吾	鹿児島県大島郡与論町茶花32-1	人員 130名
鹿児島県水難救済会	和泊救難所	伊地知実利	鹿児島県大島郡和泊町和泊10	人員 36名
鹿児島県水難救済会	知名救難所	平安正盛	鹿児島県大島郡知名町知名307	人員 40名
鹿児島県水難救済会	喜界救難所	加藤啓雄	鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地	人員 97名
鹿児島県水難救済会	天城救難所	大久幸助	鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1	人員 58名
鹿児島県水難救済会	伊仙救難所	大久保 明	鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842	人員 96名
鹿児島県水難救済会	龍郷救難所	川畑 宏友	鹿児島県大島郡龍郷町浦110	人員 245名
鹿児島県水難救済会	住用支所	朝山 毅	鹿児島県奄美市住用町大字西仲間111	人員 176名
鹿児島県水難救済会	笠利支所	朝山 毅	鹿児島県奄美市笠利町大字中金久141	人員 170名
鹿児島県水難救済会	宇検救難所	元田信有	鹿児島県大島郡宇検村湯湾915	人員 245名
鹿児島県水難救済会	大和救難所	伊集院 幼	鹿児島県大島郡大和村大和浜100	人員 193名
鹿児島県水難救済会	名瀬支所	朝山 毅	鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8	人員 335名
鹿児島県水難救済会	瀬戸内救難所	房 克 臣	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23	人員 50名
鹿児島県水難救済会	徳之島町救難所	高岡秀規	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203	人員 245名

## 16-15 船舶交通安全協議会

組織の名称	会員数	設立年月日	主な活動海域
奄美地区小型船交通安全協議会	50名	昭和49年12. 17	奄美大島（奄美市名瀬）
瀬戸内町小型船舶交通安全協議会	66名	昭和57年10. 6	奄美大島（瀬戸内町）
喜界島地区小型船交通安全協議会	54名	平成 5年 9. 27	喜界島周辺海域
奄美群島瀬渡船安全対策協議会	12名	昭和60年 7. 29	奄美大島（奄美市名瀬）
与論島地区小型船交通安全協議会	50名	平成 5年 9. 27	与論島周辺海域
沖永良部島・和泊地区小型船交通安全協議会	40名	昭和60年 7. 29	沖永良部島周辺海域

## 16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況

期日：平成22年12月31日  
単位：基

市町村別	区分	灯	台	導	灯	指	向	灯	照	射	灯	計
( 奄 美 大 島 )			15		1					1		17
奄 美 市			7		1							8
大 和 村			1									1
宇 検 村												
瀬 戸 内 町			6									6
龍 郷 町			1						1			2
( 喜 界 島 )			4		1							5
喜 界 町			4		1							5
( 徳 之 島 )			5		1				1			7
徳 之 島 町			2		1				1			4
天 城 町			2									2
伊 仙 町			1									1
( 沖 永 良 部 島 )			2		2		1					5
和 泊 町			1		2							3
知 名 町			1				1					2
( 与 論 島 )			2		1		1					4
与 論 町			2		1		1					4
合 計			28		6		2		2			38

(注) 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

## 16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会

会長名	事業所名	加入団体数	設立年月
中 田 留 弘	奄美ダイビングセンターとめ	38	平成元年 4 月